丘に騒が 熱き街冬まだ見ぬ若草よぁつ まちふゆ み わかくさ はく黄の芝の

開ける野心は路の上 声を勝利歌に

原始林をつらぬく

忍びよる業の糧もです。かで

寄する闇 俺の樹はつぶれない

積雲に箕微笑む月の面に 鎧袖一触すがいしゅういっしょく

孤り気を吐く

覇する壁水晶降る明けは おいしょうふ あ

の衝撃

静寂の暴君座すれどもせいじゃく

珠のはじける日も近したま 生をみごもる

息を潜めよ

熱きまち

俺ぉゎ

の名は恵迪寮

目線でし 迪を極めよ 煩悩は吹き散る 四山を震わす四股の音に めざすは天下一